

# Lib. ニュース vol.2

新中央図書館の基本設計ができました

## 【計画コンセプト】

### —駅前ビルに浮かぶ下町の図書館—

#### ○ワンフロアのゆとりある図書館

「ワンフロア」の明確な空間構成を生かし、空間の魅力的な「広がり」と居心地のよい「落ち着いた場所」を創造します。

#### ○「まち」をイメージした開架スペース

広い開架空間をわかりやすい構成とするため、中央を貫く「図書館ストリート」を設けます。利用者の大きな流れに沿って配架を展開すると同時に、両側には町並みのような閲覧席を配置します。

#### ○自分の居場所を発見できる図書館

開架室には500席以上の読書席を確保し、利用者の年齢や目的、気分に合わせて自分のお気に入りや自由を選べる場とします。テーブル席、グループ席、一人用席やスツールなど、多様な読書スタイルに応えます。

#### ○利用者が安心できる図書館

カウンターから死角の少ない空間構成に配慮します。  
児童室への出入りはカウンターの前を通ることにより不審者の進入を防ぎます。  
職員の動線上にトイレを配置し、職員が目が届きやすい設計を工夫します。

#### ○ひとにやさしい図書館

子どもからお年寄り、障害を持った人も同じように利用できるユニバーサルデザインの施設とします。

\*\*\*\*\*

# 基本設計案

\*\*\*\*\*

## ○親子で楽しめる児童スペース

乳幼児をはじめ、学校の調べもの、研究者までの利用を想定して、行事のないときには託児の場となるお話室や、カーペットコーナー、児童書研究コーナーなど、利用者に合わせた様々なスペースを設けます。

## ○オープンフロアの開架スペース

利用者が使う部分は間仕切りのないオープンな空間とし、天井や家具の配置などの空間演出により構成します。

飲食コーナーや児童室をエントランス部分にまとめ、図書館の賑わい空間とします。そして、静けさを求めるコーナーを順に奥にする構成とします。

成人学習室やグループ学習室など、調査・研究のための専用室を設け、大人の学習の場としての図書館機能を高めていきます。

## ○ヤングアダルトコーナー

児童スペースと一般開架へのつながりを重視した配置とします。グループ学習にも利用できる YA ルームは自由に学習でき、中高校生の居場所としての役割も担います。

## ○障害者サービスコーナー

目の不自由な方に読み聞かせができる対面朗読室や、拡大読書機器などを備え、読書が困難な利用者へのサービスをさらに充実させます。

## ○会議室等

南西側にセミナー、イベントなどに利用する会議室を 2 室配置します。

## ○施設概要

施設面積 : 約 5 0 0 0 m<sup>2</sup>

蔵書収容能力 : 開架約 2 0 万冊、閉架約 2 0 万冊

座席数 : 約 5 0 0 席

主な諸室・スペース : (名称は仮称です)

**児童開架スペース** お話室、カーペットコーナー、児童用トイレ、授乳室、児童参考図書コーナー、児童書研究コーナー

**ヤングアダルトスペース** YA ルーム、AV コーナー、

**一般開架スペース** パソコンコーナー、雑誌コーナー、参考図書コーナー、成人学習室、グループ研究室、個人研究個室、開架書庫、閉架書庫

**障害者サービススペース** 対面朗読室、録音室、ボランティアルーム、

**その他のスペース** 飲食コーナー、会議室

金町六丁目地区の再開発事業にあわせて、新中央図書館を整備いたします。整備に先立ち、区立図書館の今後の方向性や新中央図書館の基本理念などをまとめましたので、ご覧ください。区内各図書館の行政資料コーナーにあります。